

市民ワークショップ^o

実施報告書

I. 目的

第7次八戸市総合計画策定の基礎資料とするため、市民の主体的な話し合いの中から、市民目線のまちづくりのニーズや取り組みを把握することを目的に実施する。

II. ワークショップの概要

参加者：公募により、自主的に参加された市民の方々

開催日時：第1回ワークショップ：令和元年12月8日（日）10：00～12：00
第2回ワークショップ：令和元年12月22日（日）10：00～12：00

開催場所：YSアリーナ 多目的室

参加者数：第1回（19名）、第2回（13名）

実施方法：基本テーマ「八戸のみらいを考える2日間」のもと、2回通しの話し合い

第1回の話し合いのテーマ：「まちの現状・将来」

第2回の話し合いのテーマ：第1回の将来をもとにした「まちづくりの作戦」

○第1回 八戸のみらい
～20年後の八戸を考える～
現状：まちの魅力・資源／問題・課題は何か
将来：どうあってほしい（どうなっていたら不安）
⇒将来像をまとめた「未来の新聞」を作成



新たな発想や話し合いを促すため、第1回でグループ分けしたメンバーをシャッフル

○第2回 みらいをかなえる まちづくり
～将来に向けたまちづくりの作戦を考える～
取組：どんな取組を進めると良いか、アイデア出し
作戦：誰が（市民も含め）、どのように取組むのか
⇒将来像を実現する「まちづくり作戦」を提案

Ⅲ. ワークショップの結果

1. 第1回ワークショップ

(1) 現状・課題

4つのグループに分かれて話し合った「八戸の良いところ」、「八戸の悪いところ」の内容を以下にまとめる。右側の数字は、当該意見に賛同（「いいね」マークを付けた）した人の数を示している。

<八戸の良いところ>

歴史・文化 (いいね)

歴史のある町、国宝3つ	2
たくさんの文化人を輩出	
祭り（三社大祭、えんぶり）⇒親子 多世代	

スポーツ (いいね)

野球が強くプロ選手を輩出	1
スポーツが盛ん	1

産業 (いいね)

農業・漁業に恵まれたまち	
工業・商業・農業のバランスが良い。いろいろな産業のある町。産業・企業・職	3
農 ハウス施設 園芸	
産業が発達。企業を誘致している。八戸型成功体験がある（企業誘致）	3
八食センター（fish market）の強さ！	3
魚の水揚げが多く、加工業の稼働が多い。港が有効に活発に運行	4
台風が少ないので船の積み荷をおろすことの影響が少ない	1

国際化 (いいね)

外国人も増えている	2
外国人人材を積極的に採用	1

食文化 (いいね)

食。お酒がおいしい。食べ物も美味しい（せんべい汁とか・・・）	7
お土産が多い	
魚、刺身などおいしい。魚が新鮮。海のもの 特にイカはおいしい	8
海鮮がおいしい、飲食店多くて楽しい	
日曜朝市 日本一	1
県内でも発展している	2

自然 (いいね)

自然の素晴らしい所。環境が良い、自然が豊か。風土的に恵まれているところ、種差、自然、山、河。自然が多い。海が近い、自然がたくさんある。海、山の資源の豊かさ。種差などのきれいな自然がある。地域資源に恵まれている	16
雪が少ない(県内)、台風少ない(天候が厳しくない)。夏⇒涼、冬⇒少雪。涼しい。晴れの日が多い	19
温泉が近い。温泉があって安い	4
空気がきれい。水がおいしい	3
自然災害が少ないと思う	1

教育 (いいね)

養護学校から大学まで代替の教育機関がそろっている。教育 大学 養護	2
-----------------------------------	---

まち・施設 (いいね)

まちがコンパクト(道中が狭いことも歩く人には優しい)	
ハコ充実。はっちやブックセンターなど独自のハコがある。多目的に使用する施設が多い(はっち、マチニワ、アリーナ)	3
YSアリーナ。アイスアリーナが日本で3番目にオープンのところ。氷都八戸の再生(YSアリーナ八戸の建設)	3
新しいきれいな建物が多い	1
新井田公園はとても気分が良い、緑が多く芝生が広くてグランドゴルフを楽しむ高齢者の方々がたくさんいる	1
今は三日町を中心に商店街はできているが、将来は田向類家新井田通りが中心街になりそうな気がする	
みろく横丁が楽しい(観光客もよるので、八戸のPRができる)	
まちなかにごみ捨てが少ない	1

人 (いいね)

人柄の良い人が多い。市民の方々の穏やかさ。人がやさしい、落ち着いている。	6
方言がかわいい 面白い	2
語りたい人がいる	
住み開き活動を広めて(広めたい?)いる	
外に向かっているため情報がたくさん入る	
官民の活動が積極的	

交通 (いいね)

フェリー・新幹線など交通起点となっている	1
新幹線が通っている。新幹線の利用が多い	3
買い物がしやすいし駐車場が各店ごとにある	1

<八戸の悪いところ>

人口・就労の問題

(いいね)

労働人口の減少。人口減少で事業者の数が減っている	5
働く場所が少ない	
少子高齢化による高齢者増加	
地元の人材を活かせていない	2
Uターン、給料が低い。所得が低い（他県比較）	7

交通

(いいね)

飛行場がない	1
バスの時間逃すとすごい時間待つ。バスの路線と数が少ない	4
公共交通機関。交通の便が悪い（終電早い、本数少ない）。八戸線など最終時間が早い	6
交通マナーの悪さ	1
八戸駅と本八戸駅の位置関係	1
車がないと何もできない。交通の便、自家用車	3
駐車場代。駐車場のないまち。市内にある駐車場も料金が高いため、町に人々がくり出さない。コーヒー一杯飲んでも駐車料金割引券を出せる工夫が必要	6
弱者へのシャトルバスの運行を増やす	1

情報発信

(いいね)

PR（町の）の下手な町	2
八戸に戻りたいと思える街ではない。「帰って来いよ」のメッセージが下手	5

自然

(いいね)

夏⇒やませ、冬⇒寒い	
地震（津波）	

教育

(いいね)

教育にあまり関心がない	
職業教育が少なく民度が上がらない	
専門家が少ない。国公立大学がない	3

まち・施設

(いいね)

今あるもの資源を活用できていない感じ	
駅周辺がさびしい	3
ハコはあるけど経済が追いつかない	1
ハコが多い。箱物を作りすぎている。維持管理費は大丈夫？高額	10

灯り。夜道が暗くて危ない	3
道路、橋	
ホテルや道路などの整備の同時進行が行われていない	1
車いすで生活できる街なのか！？	
マチニワの三日町側の一階の噴水は必要ない。かえって邪魔になっている、今更撤去するのも難しい、噴水を止めて池にするとかにしたほうが良い	2
階段の登り口にあるスペースでバンドとか音楽その他の芸をするときに見えにくくなっている	2
周りにプランターを置いてあまり伸びない木とか花を植えて緑を豊かにすることも良い。日を決めてアイスクリームとか餅など売る屋台を出すことも効果がある	1
旧市民病院跡地「まつりんぐ」は今駐車場になっている。有効に使うために人工芝を張って子供たちもスポーツができるようにしたほうが良い	1
特に八戸市内は極めて緑が少ない。東京都、仙台あたりは高層ビルが多いのに森も多く緑がすごく多いことがよくわかる。緑が多いということは景観も良いし光合成によって空気もきれいになる、空き家も多いので、工夫すれば小さな森もつくることができる	4

娯楽・イベント

(いいね)

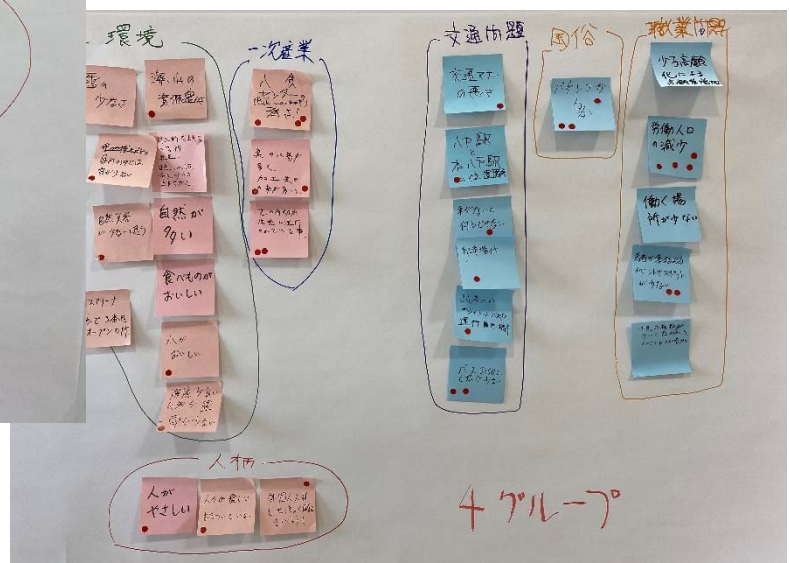
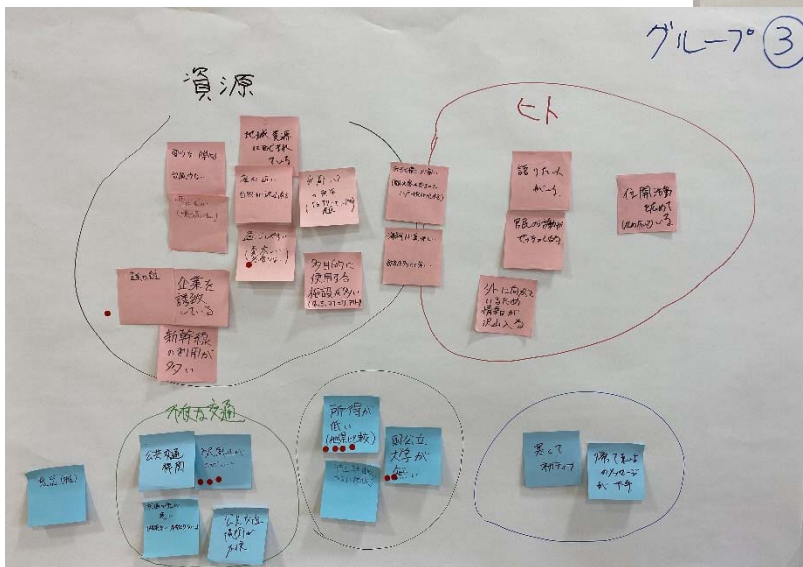
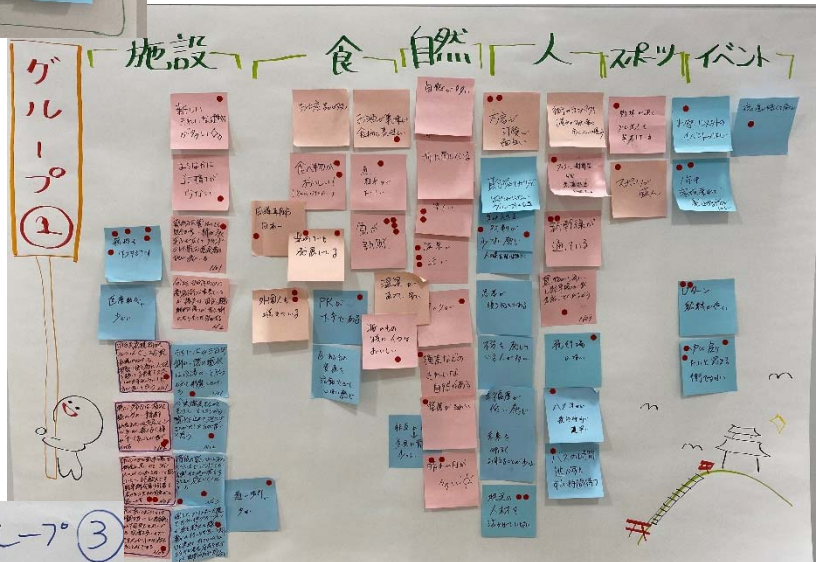
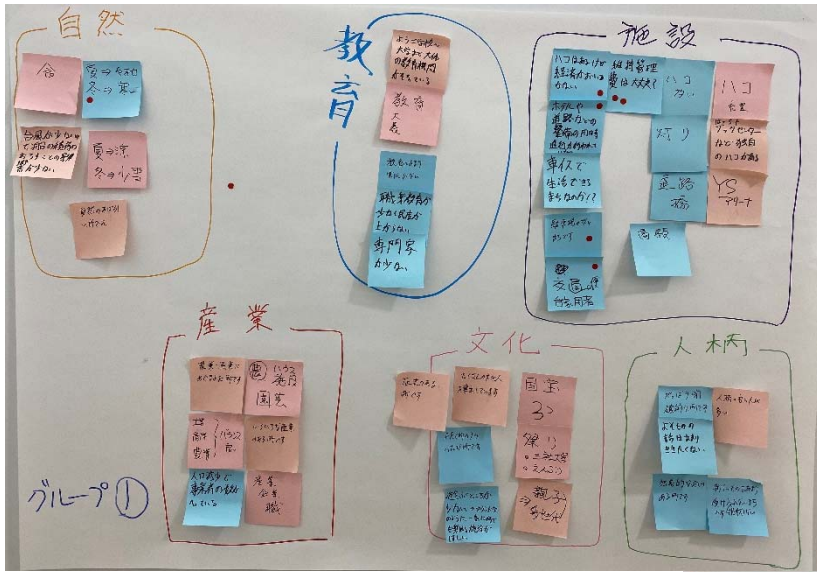
お祭り以外のイベントが欲しい。若者が集まるようなイベントやスポットが少ない	4
1年中家族連れで楽しめる所がほしい	2
市民の移動範囲が少ないと思われる、イベントへの参加	
遊ぶ場所が少ない。ラウンドワンのように一気になんでも楽しめる施設がほしい	2
パチンコ店が多い	3

人

(いいね)

やっぱり閉鎖的な町。受け入れる体制が少ない感じ。よそもの話はあまりききたくない。独善的なところのある町。批判が多い⇒意見に肯定が少ない。新しいものをあまり受け入れない・挑戦しない町	8
恥ずかしがりが出たがらない、グループになる	
人の足を引っ張る所。思考が後ろ向きである。寒くてネガティブ。未来を明るく見据えることが少ない	3
不安を感じている人が多い。医療助成が少ない。幸福度が低い感じ	2

<グループで作成した「八戸の良いところ・悪いところ」>



(2) 八戸の将来「未来の新聞」

4つのグループで話し合った「(1) 現況・課題」をグループごとに発表して意見を共有し、引き続き八戸の将来について話し合い、「未来の新聞」として提案した。

4つのグループの「未来の新聞」をテーマごとに一つにまとめた内容を以下に示す。

【観光・交流】

● 八戸 20XX 年 NEWS

日本の将来は暗い中であって八戸の未来は明るい？

八戸の人口は将来 20 万人を切ると言うが、産業は全産業とも IT 化され IOT ですべて WEB で繋がり、人がいなくとも快適な生活を送れている。

YS アリーナも盛況で思いもよらなかったイベントが開催され、宿泊施設も空き家を活用、民泊も大盛況で、アリーナの収支も黒字続きた。

念願の駐車場も第三セクターで集約され、市民は無料で便利に活用でき中心商店街は昔の活況が戻ってきた。観光資源も JR、星野リゾートと連携で世界から訪れる場所に変貌を遂げた。

● 八戸に外国人街が…

- ・ Hachinohe Disney Land ができて、国内外からの観光客が急増。
- ・ 八戸の企業は成長し、海外進出をし、外国人人材が多くなる

【食文化・地場産品】

● 八戸ワイン

2044.9 月←2014 年からの取組から 30 年

天候に恵まれ…品質も！！取組生産者も！！

輸出過去最高 カンパ〜イ♪

● せんべい汁&蕪島

八戸ブイヤベースなど世界中で称賛

お土産品ネット売り上げ調査で世界一を獲得！「SENBEIJIRU」は世界共通語です！

【スポーツ・文化】

- 巨人監督に坂本！

八戸学院光星出身の坂本勇人が次期巨人監督に内定
20 年前に流行した“One Team”をキャッチフレーズにする。

- えんぶり世界へ飛躍

八カや三社神輿と共演へ

2040 年 10 月にプライフーズスタジアムで行われる 2040 ラグビーワールドカップで三八地域のえんぶり団体が集まり世界へ向けて宣撫することとなった。またニュージーランドオールブラックスの伝統舞踊八カや浅草の三社神輿と共演。

開催にあたりえんぶりをおこなった地域でも多数復活。

東京下町との伝統芸能姉妹地域協定もはじまる。

【まち・交通】

- 八戸未来新聞

青森県八戸市では 20 年前に比べ電柱を減らす政策を行っていた。市は同時に街灯が少ないという声に合わせて街灯を増やすとともにコンパクトシティを推進。これにより小さいエリアでより重点的な市民サービスを実現させることに成功した。その成果は街灯だけではない。

人口は 20 年前に比べ 16 万人に減ったものの、高齢者の人口は増え続けている。そのため、車いすの利用者も増えた。市はバリアフリーを推進するとともに屋根のたくさんある傘の必要のない街を推進。八戸市長はインタビューを受け、今後も市民の過ごしやすい街を作り続けていくと語っていた。

- IT 社会の普及！！

ついにここまで来た！

2040 年ついに無人電車の運行が開始された。この影響により、運行本数の増加、運行時間の拡大が見込まれる。

また、宅配（ネット）サービスの向上により、ネットを活用したショッピングサービスの利用者が 8 割を超えた。介護医療ロボットが一般家庭に導入された。

- 八戸に地下鉄が開通 交通の便がより良く

子どもたちだけでも、車を運転できない高齢者も移動しやすい町へと成長した。

【雇用・所得】

- 市民の平均所得「増」

10年連続「生産性向上」がカギ

八戸市民の所得が今年も増加した。20年前にはちのへ市長が掲げた「八戸市構造改革プラン」が影響したものとみられている。

プランは、人口減少と労働力減少を前提とし「人間が働かずに済む作業を増やし、市役所がモデルケースを示すことで官民の起爆剤とする」を目的とした。民間企業の実現のほかに、先進事例を見あてに流入した人材も多いという。

【教育・医療・福祉】

- 希望新聞（5年後）

- ・ 子供の医療費無料化
- ・ 小中学生（15才）までの無料実施
- ・ 住宅取得費用市助成
 - 新築 ××
 - 中古 ××
- ・ IoTの活用
 - 工専
 - 八戸大学
 - 八戸工業大学

- あなたの子どもさんを八戸に呼びませんか？

医療費完全助成（高校生まで）

海、水、温泉もあるよ

教育・スポーツ充実

- 未来の青少年たちへのメッセージ

- ・ 健康な人生のために
- ・ 今からでも市民一人一人が考え方をもち、共同して、八戸に若者が定住し続けられるように行政が力を注いでいくこと。
- ・ 少子化を無くするような住宅
- ・ 医療・教育を定額にすること
- ・ 市内バスを無料に
- ・ 日本一の市民に八戸が認められるようにがんばろう！

【市民活動】

- 地域を支える市民活動

老若男女で大にぎわい

2030年10月某日。マチニワで各地域で地域を支える市民活動団体の活動発表会がありました。

是川地区では定期的に若者団体が市をつくって、高齢者が買い物に集まっています。

小中野地区では高齢者と子どもたちの3世代交流を定期的に行っています。

- 緑のまち八戸

20年前に八戸市中心街で市民で植えた木が成長し、「緑のまち八戸」の取組に成果ができました！！！！

【人口】

- 人口30万人に増えている

それは何故か？八戸愛

今の私たちが八戸に住んでいた幸福度が上昇しているから

八戸に戻ってきたい！住みたい！

そのような人が八戸に溢れたから！

【産業】

- 八戸市まさかの人口増！！市による新しい産業誘致が機能

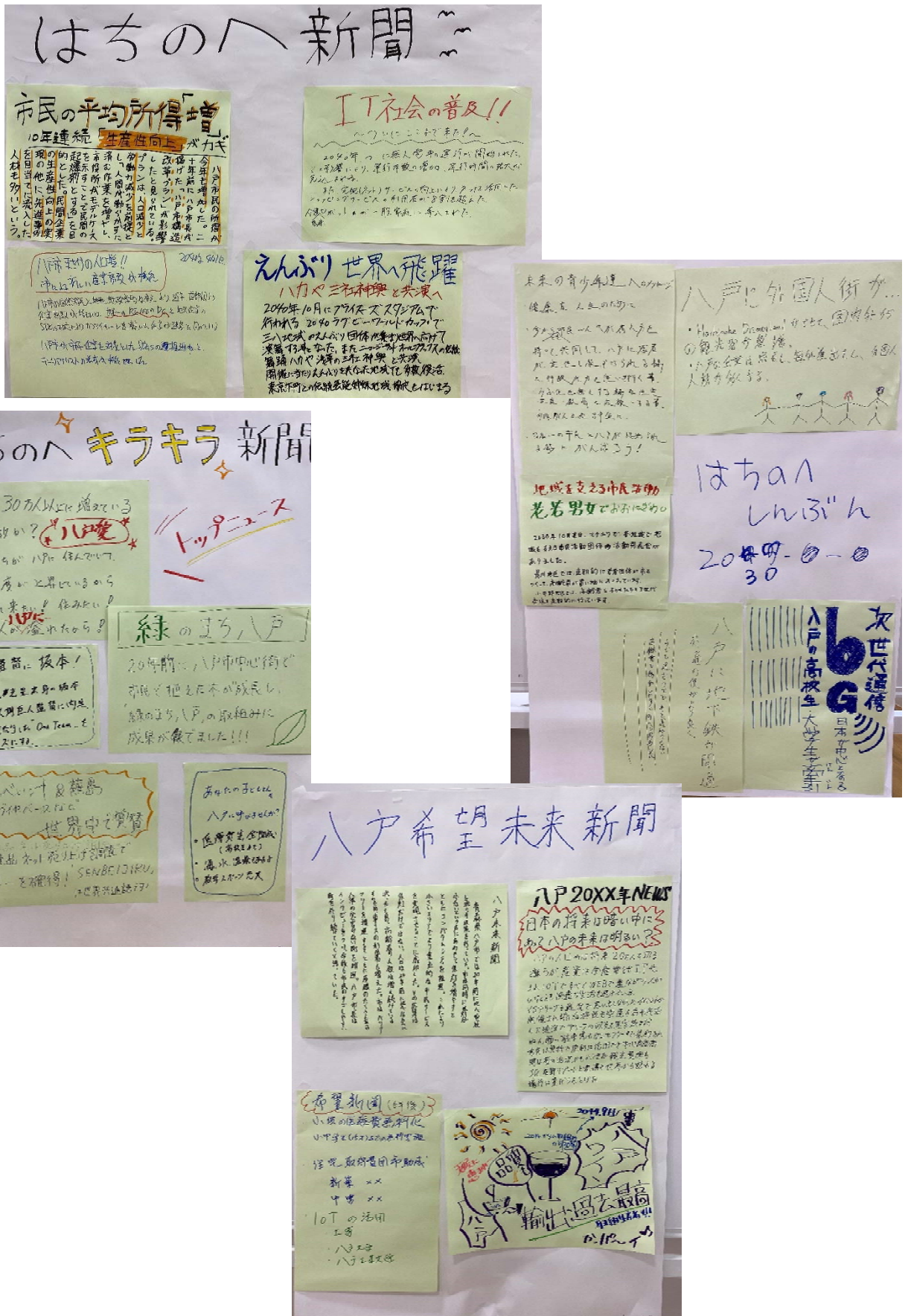
八戸市の自然環境と地政学的な視点より近年首都圏より企業誘致が増えている。世界一のRE100のDCと地元企業のSDGs対応によりサプライチェーンを築いた企業が連携を図っている。

八戸市が市民企業を対象としたSDGsの推進とデータアナリストの養成が機能した。

- 次世代通信6G日本が中心となる

八戸の高校生・大学生が牽引

<グループで作成した八戸「未来の新聞」>



2. 第2回ワークショップ

(1) 将来に向けた取組み

第2回ワークショップは、第1回の「未来の新聞」を3つのテーマ「文化・スポーツ・交流」、「産業・経済」、「人・暮らし・まちづくり」に区分し、3つのテーマごとに班を分けて話し合いを行った。

第1回の「未来の新聞」をもとに、将来に向けた取組みについて、話し合った内容を示す。右側の数字は、当該意見に賛同（「いいね」マークを付けた）した人の数を示している。

<将来に向けた取組み>

①「文化・スポーツ・交流」の取組み：A班

文化 (いいね)	
三社大祭、えんぶり、素晴らしいまつりをPRし、観光客を増やす	
縄文館、世界遺産に登録され、研究者、観光客を増やす	
翻訳機の活用・補助	
スポーツ (いいね)	
スポーツ、市民皆プレーできる環境	
プロのキャンプ地を誘致	
分散型のイベント方式の活用	
プロ選手の育成	
中心街の活性化 (いいね)	
主婦達が旅館を経営する	
歩きたくなる街にする、道をよくする	
駐車場（立体等）を増やす	
車椅子、ベビーカーを押しやすい道に、観光客が歩きやすい	
学生が気軽に集まれるキャンパス	

②「産業・経済」の取組み：B班

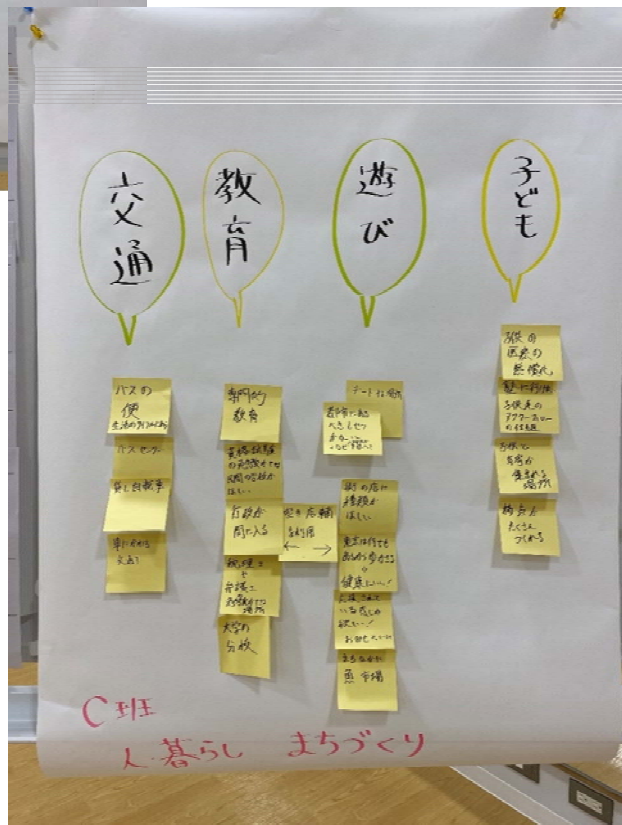
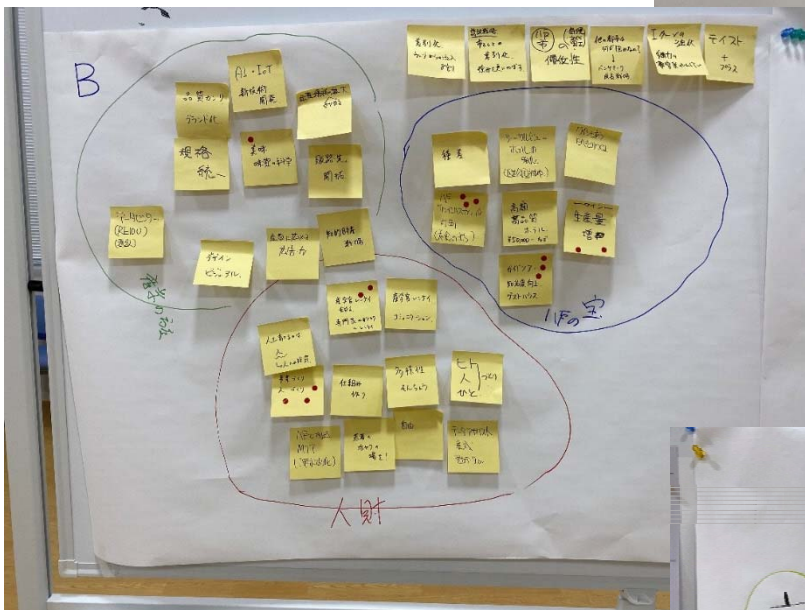
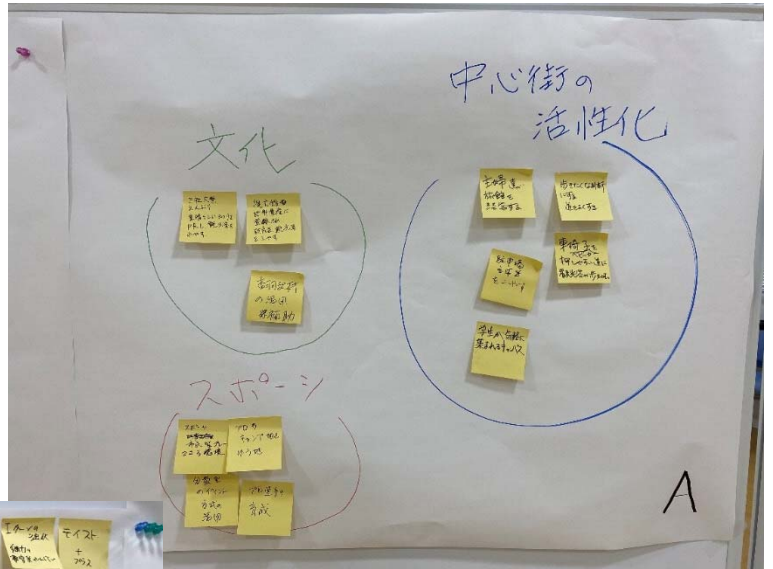
産業の高度化 (いいね)	
AI×IoT 新技術開発	
品質管理、ブランド化	
規格統一	
美味、味覚の科学	1
産業場所のさらなる拡大	
販売先の開拓	
データセンター (RE100) (誘致)	
デザイン、ビジュアル	
全国に広める広告力	
知的財産戦略	
人財 (いいね)	
産学官連携、金労言、専門家の活躍と連携	2
産学官連携、コミュニケーション	
人を育てるのは人→人への投資	
事業づくり、人づくり	3
仕組みづくり	
多様性の尊重	
ヒト・人・ひとづくり	
八戸で通える MIT (八戸ボストン化)	
若者の活躍の場を！	
自由	
データアナリスト養成、電力データ etc	
八戸の宝 (いいね)	
種差	
シーガルビューホテルの強化 (国立公園補助)	
ワインに合う食べ物をつくる	
八戸「サンセバスチャン」化計画 (美食のまち)	3
高額高品質ホテル、¥50,000-など	
ワインの生産量増	2
ガイドツアーの知名度向上、ゲストハウス	3
その他 (いいね)	
差別化、ウェブからの流入 8 割	
誘致戦略、市としての差別化、強みをさらに伸ばす	
八戸市の気候・文化・農工の優位性	
他の都市は何が強みなの？→ベンチマーク、成長戦略	

Iターンの強化、魅力の官民連携	
テイスト+プラス	

③「人・暮らし・まちづくり」の取組み：C班

交通 (いいね)	
バスの便、生活のサイクルに合う	
バスセンター	
貸し自転車	
車にかわる交通	
教育 (いいね)	
専門的教育	
資格試験の勉強ができる民間の学校がほしい	
行政が間に入る	
税理士や弁護士の勉強ができる場所	
大学の分校	
空き店舗を利用	
遊び (いいね)	
デートする場所	
都市にあるべき施設がない（なぜ八戸市民が下田へ？）	
街の店に種類がほしい	
東京は何でもあるから歩かされる（健康にいい！）	
応援されている感じが欲しい！お店をやっていると	
まちなかに魚市場	
空き店舗を利用	
子ども (いいね)	
子どもの医療の無償化	
塾に行けない、子どもたちのアフターフォローの仕組み	
子どもとお年寄りが集まれる場所	
接点がたくさんつくれる	

<各班で作成した「将来に向けた取組み」>



(2) まちづくり作戦

3つのテーマごとの班で話し合った未来に向けての「(1) 将来に向けた取組み」をもとに、まちづくりの“5W1H”を話し合い、「まちづくり作戦」として提案した。

3つのテーマごとの班の「まちづくり作戦」を以下に示す。

①「文化・スポーツ・交流」：A班のまちづくり作戦

作戦名	どうする	いつ	なにを	誰が	どこで
だれでも スポーツ マン	プロ、アマのキャンプを 誘致する 市民との交流 経済の活性化	いつ でも	八戸のYSアリーナ 西地区のアリーナ 市民、様々な体育施 設の活用	地元の旅 館	市内
ねむらせ ない街 八戸中 心街	すでにある施設を活用 宿泊施設 旅館に泊まる、ゆかた、 三社大祭、えんぶり体験 横丁、朝市を活用 中心街を歩きやすく整 備→歩きたくなる街づ くり→歩道を	あす から 準備	昼はカフェ 夜は旅館	市民活動 団体をつ くり おかみさ んを育て る 旅館を運 営	中心街

②「産業・経済」：B班のまちづくり作戦

作戦名	どうする	いつ	なにを	誰が	どこで
事業づくり・人づくり	産学官が連携する 八戸市の組織で既にあるものもあるが、動いていない プロデューサー人材をつくっていく 地域活性化人材 失敗させる機会、行動する機会 出口一体型地方創生人材養成—2020年9月～	2020年 9月以降	横の連携（ハッカソン・アイデアソン・イベント）がつけられる機会をもうける	プロデューサー 大学 行政	大学 高専
八戸「サンセバスチャン」化計画 「美食のまち」づくり	従事してくれる若い人を集める 食 成功体験＝みろく横丁 第一次産業と食産業との連携 沖獲れの食材 etc を確保できる仕組み 人口は十万人くらいが良い…！？ 地方創生予算が活用できる—申請 2020.5～9月認可	2020～	2020 勉強会 2021 計画化（受給） 2022 組織化	地元有志 コアターゲット：若い人（飲食）	八戸市 南浜漁協 八戸ワイン関係、JA（青） 大学生、高専生
ガイドツアー 知名度向上 ゲストハウス	町全体へゲストハウス開業 まず、1ヶ所開設した後、ほかの空き家・空き部屋で複数つくる 数を確保すれば、団体として大規模な PR、受け入れ体制がとれる 戦略的な知名度を拡充し、さらなる集客力を→助成金が来年新設される！産官連携	2020年 1月～	空き家を使ってゲストハウス開業	民間会社	むつ湊

③人・暮らし・まちづくり：C班のまちづくり作戦

作戦名	どうする	いつ	なにを	誰が	どこで
便利さ追求・楽しさ追求①	交通の便を良くする	早急に	バスプールを作る (無料のバス券、コミュニティバスを出す) 駐車場を効率化する	行政	中心街に 地下駐車場も考える
便利さと楽しさを追求②	買い物を楽しくできるように	即時	魚菜市场を作る	店主？市外に人による	中心街
市民の教育の場	ある目的で集まって勉強する場所を、空き家を使って確保する 資格を取れる場所をつくり、都会から戻れる場所をつくる	できる限り早めに	講師はネット（スカイプで）	仲介は行政の力	空き場所
市民の家族愛和の日を作ろう	子どもと一緒に家庭で食事をする日をつくる そのために、八戸市民だけの休日をつくる			市長	
子どもは宝作戦	18歳までの医療費無料 出産祝い金の増額 ママ友の交流会を作る場をつくる			市長	
休日歩行者天国作戦	毎週日曜日、中心街を歩行者天国にする	早く	歩行者天国→イベントづくり→えんぶりと三社大祭に頼りすぎ	商工会議所 行政（交通部） 若者	中心街

<各班で作成した「まちづくり作戦」>

A 文化・スポーツ・交流

<p>課題名: 誰でもスポーツマン (自由)</p> <p>どうする: フロントガラスに誘致する。 気軽に遊べる環境づくり</p>	<p>いつ: いつでも</p>	<p>どこ: 1Fのガラス、西側のガラス 駐車場の壁面</p>
<p>課題名: 誰でもスポーツマン (自由)</p> <p>どうする: 誰でもスポーツマン 誰でもスポーツマン 誰でもスポーツマン</p>	<p>いつ: いつでも</p>	<p>どこ: 駐車場の壁面</p>

B 産業・経済

<p>課題名: 子育てのしずか</p> <p>どうする: 子育てのしずか 子育てのしずか 子育てのしずか</p>	<p>いつ: 子育てのしずか</p>	<p>どこ: 子育てのしずか</p>
<p>課題名: 子育てのしずか</p> <p>どうする: 子育てのしずか 子育てのしずか 子育てのしずか</p>	<p>いつ: 子育てのしずか</p>	<p>どこ: 子育てのしずか</p>

C 人暮らしまちづくり

<p>課題名: 健康と安全なまち</p> <p>どうする: 健康と安全なまち 健康と安全なまち 健康と安全なまち</p>	<p>いつ: 健康と安全なまち</p>	<p>どこ: 健康と安全なまち</p>
<p>課題名: 健康と安全なまち</p> <p>どうする: 健康と安全なまち 健康と安全なまち 健康と安全なまち</p>	<p>いつ: 健康と安全なまち</p>	<p>どこ: 健康と安全なまち</p>